

慶事のしおり



親しい人の慶び事は、
自分のことのようにうれしいもの。

ご結婚やご出産、ご新築、新入学、各種記念日など、
日常のなかにはいっぱいあるうれしい節目に
あなたの想いをかたちにかえて。

マルエイは心のごもった贈り物をご提案します。

お祝い、お返しのしきたりとマナー

■お品選びは 先様の立場になって。

配慮のない贈答は、喜びや感謝の気持ちも半減してしまい、その意味を失ってしまいます。まず、贈答の目的は明確に。先様の年齢、家族構成、好みなどを考え、どのようなものが先様に喜ばれるかチェックをしましょう。

■贈るタイミングを 間違えないように。

贈答には適当な時期があり、早ければ良いというものではありません。例として、結婚祝いの場合、挙式の1週間前までに。出産祝いなら母子ともに落ち着いてから1ヶ月以内。入学祝いの場合、4月上旬までが最も良い時期となります。

■配送の場合は 先様に送り状を。

忙しい昨今、配送による贈答が一般的となっています。しかし漠然とお品を贈るだけでは、先様が戸惑われる可能性があります。この場合、後に挨拶を兼ねた送り状を郵送しましょう。

■贈答のお返しは間をおいて。

贈答に対するお礼として、お返しの品を贈る場合は、贈答を受けてから1週間から10日たってからが良いでしょう。遅くとも、1ヶ月以内にお返しをしましょう。

■贈答のお返し相場。

従来は、目下の人への場合、贈られた品物と同額のもの、目上の人へは半額程度のお返しをするのが適当とされてきました。しかし、最近ではどのような方にも半額程度(半返し)が一般的となっています。同額程度でなくても決して失礼にはなりません。

■内祝いについて。

結婚、出産、七五三、受賞、長寿、新築の祝など、喜びを共にしたい相手に贈る内祝いは、先様の地位や、贈答品の金額を考慮し品物を贈ります。

お祝い、お返しのしきたりとマナー

【お祝い】

| 種類 | 名称 | 進物の表書 | 進物の時期 |
|-----------|---------------|-------------------|---|
| 婚礼 | 婚礼祝 | 御祝・御婚礼御祝 御結婚御祝 | 挙式の一週間前 までに |
| 出産 | 出産祝 | 御祝・御安産御祝 御出産御祝 | 誕生日から お宮参り当日までに |
| 結婚 記念日 | 銀婚式 | 御祝 銀婚式御祝 | 結婚後25年目 |
| | 金婚式 | 御祝 金婚式御祝 | 結婚後50年目 |
| 長寿 | 敬老の日 | 御祝・御長寿御祝 | 敬老の日当日 または直前 |
| | 還暦祝 | 御祝・還暦御祝 | 数え年61歳の 誕生日までに |
| | 緑寿祝 | 御祝・緑寿御祝 | 66歳 |
| | 古希祝 | 御祝・古希御祝 | 70歳 |
| | 喜寿祝 | 御祝・喜寿御祝 | 77歳 |
| | 傘寿祝 | 御祝・傘寿御祝 | 80歳 |
| | 米寿祝 | 御祝・米寿御祝 | 88歳 |
| | 卒寿祝 | 御祝・卒寿御祝 | 90歳 |
| | 白寿祝 | 御祝・白寿御祝 | 99歳 |
| | 紀寿祝 | 御祝・紀寿御祝 | 100歳 |
| | 茶寿祝 | 御祝・茶寿御祝 | 108歳 |
| 皇寿祝 | 御祝・皇寿御祝 | 111歳 | |
| 幼少年期 | 宮参り | 宮参り御祝 | 生後(男)31日目 (女)32日目 |
| | 食初め (箸そろえ) | 食初御祝 | 生後100日目 または120日目 |
| | 初節句 七五三 | 初節句御祝 七五三御祝 | 生後初めての節句 3歳・5歳・7歳の 宮参り当日 (11月15日)までに |
| | 十三参り | 十三参り御祝 | 数え年13歳の 4月13日 |
| その他 | 入学祝 | 御祝・御入学御祝 | 決定後、 なるべく早く |
| | 進級祝 | 御祝・御進級御祝 | |
| | 卒業祝 | 御祝・御卒業御祝 | |
| | 栄転祝 | 御祝・御栄転御祝 | |
| | 開業祝 | 御開業御祝 | 当日までに |
| | 開店祝 | 御開店御祝 | |
| | 新築祝 | 御祝・御新築御祝 | |
| | 地鎮祭 | 御祝・地鎮祭御祝・奉獻 | 当日持参 |
| | 上棟式 | 御祝・上棟式御祝・奉獻 | |
| | 竣工式 | 御祝・竣工式御祝・奉獻 | |
| | 落成式 | 御祝・落成式御祝・奉獻 | |
| | 受賞(章)祝 | 御受賞(章)御祝 | 決定後なるべく早く |
| | 成人式 | 御祝・成人御祝 | |
| 勤続祝 | 御祝・勤続御祝 | | |
| 創立祝 | 御祝・創立御祝 | | |

【お返し】

| 種類 | 名称 | 進物の表書 | 進物の時期 |
|-----------|--|---|----------------------------|
| 婚礼 | 婚礼の内祝 | 内祝・寿 (嫁方の場合は 旧姓を書きます。) | 挙式後 約1ヶ月以内 |
| | 引出物 | 寿 (両家の姓を書く。 両人の名前を書く 場合もあります。) | 結婚披露 終了直後 |
| 出産 | 出産の内祝 | 内祝・寿 (赤ちゃんの名前を書き、 ふりがなをつけます。) | 誕生日から お宮参り当日 までに |
| 結婚 記念日 | 引出物 | 内祝 | 結婚記念式 終了直後 |
| 長寿 | 敬老の日内祝 | 内祝・賀寿内祝 | お祝いの日から 1~2週間 |
| | 還暦の内祝 | | |
| | 古希の内祝 | | |
| | 喜寿の内祝 | | |
| | 傘寿の内祝 | | |
| | 米寿の内祝 | | |
| | 卒寿の内祝 | | |
| | 白寿の内祝 | | |
| | 紀寿の内祝 | | |
| | 茶寿の内祝 | | |
| 皇寿の内祝 | | | |
| 幼少年期 | 宮参り 食初め (箸そろえ) 初節句 七五三 十三参り | 内祝 | 当日及び 当日前後 |
| | | ※お返しに、初節句であればひし餅、桜餅、ちまき、 柏餅を。七五三には千歳飴などゆかりの品を 贈っても良いでしょう。 | |
| その他 | 入学の内祝 | 内祝 ※近くの方であれば赤飯を配ります。い ただいた方のご家族が同様のとき にお返しを兼ねてお祝いをしましょう。 | |
| | 進級の内祝 | | |
| | 卒業の内祝 | | |
| | 栄転の内祝 | 内祝 | お祝いをいた だいて、10日 から1ヶ月 |
| | 開業の内祝 | 開業記念品 | 開業披露当日 開店披露当日 |
| | 開店の内祝 | 開店記念品 | |
| | 新築の内祝 | 内祝・新築内祝 | 新居招待時 |
| | 地鎮祭 上棟式 竣工式 落成式 | 内祝(礼状) | お祝いをいた だいて、10日 から1ヶ月 |
| | 受賞(章)祝 | 内祝 | 受賞(章)式後 2週間くらい |
| | 勤続の内祝 | 内祝 | お祝いの日から 1~2週間 |
| | 創立の内祝 | | |
| | 病気回復 | 全快内祝・内祝 | 病気全快の際、 見舞品を受けた先へ |
| | | 快気内祝・内祝 | |
| 厄除け祝 | 厄除内祝 | 厄年の節分、数え年 男42歳・女33歳 | |

■わたしかたのマナー

まず、贈り物は、自分のわき(出入り口に近い方向)に置き、挨拶をしてから、ふろしきなど包みを解きます。
品書きが相手の方向に向くよう定め、口上を述べながら、品物を静かに差し出します。

■受けかたのマナー

品物を差し出されたら、一度両手で受け取り、いったん自分の上座(床の間に近い方)に置いて礼を述べます。別室に品物を持っていき、ふくさのままわたされた場合にはお返しして、ていねいにお礼を述べます。